

コース名		科目名			対象学年			
人体の構造と機能 I		皮膚・運動器			1			
開講学期		科目責任者		副責任者				
2 学期		樋田 一徳		林 周一				
目的								
皮膚の組織構造を理解する。さらに、骨、筋、筋を支配する神経と骨に及ぼす作用を学ぶことで、身体が行っている運動を統合的に理解する。								
授業到達目標								
<p>予め配付する講義録をもとに、受講（講義と実習）と自己学習（教科書熟読・グループ学習）による自学自修をバランスよく実行できるようにする。並行して行う人体解剖実習と密接に関連づける。具体的内容としては、下記の事項を説明できることを目標とする。</p> <p>皮膚</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 皮膚の構造を表皮、真皮、皮下組織に分けて、その組織構成の違いを説明できる。 2. 爪と毛の構造を説明できる。 3. 表皮の細胞動態と角化、メラニン形成の機構を説明できる。 4. 生体防御における皮膚の役割を説明できる。 5. 皮脂分泌、発汗、経皮吸収を説明できる。 <p>運動器</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人体の支柱となる骨を列挙し、骨と骨の連結を系統的に説明できる。 2. 主要な骨格(頭蓋, 胸郭, 脊柱, 骨盤)とそれに関連する器官とその位置関係を説明できる。 3. 頭頸部・顔面の骨格と主要な筋を説明できる。 4. 胸腹壁・骨盤の骨格を説明できる。 5. 関節の構造・種類ならびに関節運動に関わる筋・靭帯の働きを説明できる。 6. 上肢の主要な関節と筋の運動ならびに神経支配を説明できる。 7. 下肢の主要な関節と筋の運動ならびに神経支配を説明できる。 8. 胸腹壁・骨盤の主要な筋を説明できる。 9. 姿勢と体幹の運動に関わる筋群を概説できる。 10. 抗重力筋を説明できる。 								
授業計画								
回数	月日	曜日	時限	区分	担当者	所属	授業内容	コアカリ項目
1	9/ 9	月	1	講義	山西	解剖	皮膚の構造と機能(1): 体表観察 皮膚の構造と機能(2): 皮膚の付属器官	PS-02-04-01
2	9/ 9	月	2	講義	山西	解剖	骨格の構造(1): 骨格系概観、筋・靭帯・関節の構造、体幹 骨格の構造(2): 上肢の筋・靭帯・関節 骨格の構造(3): 上肢(上肢帯, 自由上肢) 骨格の構造(4): 下肢の筋・靭帯・関節	PS-02-05-01
3	9/13	金	1	講義	山西	解剖	骨格の構造(5): 下肢(骨盤, 自由下肢) 骨格の構造(6): 背部の筋・靭帯・関節 骨格の構造(7): 頭部(脳頭蓋) 骨格の構造(8): 頭部(顔面頭蓋)	PS-02-05-01
4	9/13	金	2	講義	林周	解剖	骨格筋の構成(1): 骨格筋の構造と機能、上腕と体幹①; 背部の筋、胸部の筋 骨格筋の構成(2): 体幹②; 胸部の筋、腹部の筋 骨格筋の構成(3): 上肢; 上肢帯、上肢	PS-02-05-01
5	9/20	金	1	講義	林周	解剖	神経支配(1): 体幹・四肢 神経支配(2): 頭頸部	PS-02-05-01
6	9/20	金	2	講義	中村文	生理 2	筋の機能(1): 骨格筋の収縮 筋の機能(2): 平滑筋の収縮、筋のエネルギー代謝	PS-01-02

7	9/27	金	1	講義	横西	解剖	骨格筋の構成(4):下肢;下肢帯(殿部・股関節)、下肢 骨格筋の構成(5):頸部 骨格筋の構成(6):頸部;表情筋、咀嚼筋	PS-02-05-01
8	9/27	金	2	講義	横西	解剖	運動(1):骨、筋と運動 運動(2):支配神経と運動	PS-02-05-01
	10/3	木	2	講義末試験			講義末試験	
9	10/3	木	3	講義	横西	解剖	皮膚・運動器まとめ	PS-02-04-01, PS-02-05-01
評価方法								
[講義末試験]90%(筆記試験にて行う。)								
[出席状況(受講態度)]10%(出席状況と受講態度を重視し、段階的に評価する。)								
[評価方法]多肢選択試験、論述・記述試験、出席・受講態度評価、実習態度評価								
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて								
試験直後の講義では、試験内容の解説を行う。								
教科書								
ISBN-9784784931811, カラー図解人体の正常構造と機能 全10巻縮刷版 第4版, 坂井建雄, 河原克雅総編集, 日本医事新報社, 2021/01								
ISBN-9784260034296, 標準生理学(Standard textbook), 本間 研一(監修), 医学書院, 2019/03								
ISBN-9784525103248, 骨学実習の手びき 第4版, 寺田春水, 藤田恒夫著, 南山堂, 1992								
参考書								
ISBN-978-4-525-10052-0, 解剖学講義 改訂2版, 伊藤 隆, 南山堂, 2004年								
ISBN-978-4-307-00341-4, 分担解剖学1 第11版, , 金原出版, 1982年								
ISBN-978-4-307-00342-1, 分担解剖学2 第11版, , 金原出版, 1982年								
ISBN-978-4-525-20311-8, 解剖実習の手びき 改訂11版, 寺田 春水/藤田 恒夫, 南山堂, 2004年								
ISBN-9784895928380, 臨床のための解剖学 第2版, 佐藤達夫(翻訳), 坂井建雄(翻訳), メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2016/02/26								
ISBN-9784260047302, グラント解剖学図譜 第8版, 坂井 建雄, 医学書院, 2022/07/01								
ISBN-9784260017022, 解剖実習カラーテキスト, 坂井建雄著, 医学書院, 2013								
ISBN-9784860346607, グレイ解剖学 原著第4版, Richard L. Drake, A. Wayne Vogl, Adam W.M. Mitchell [原著]; 秋田恵一訳, エルゼビア・ジャパン, 2019								
準備学習(予習・復習等)								
講義の全内容は講義録としてまとめ、随時、授業開始前にアップロードする。予習・復習は不可欠で、講義録をもとに、講義前日までの予習、講義当日の復習は必ず行うこと。学習法は講義・実習で教示する。教科書「人体の正常構造と機能(全10巻縮刷版)」・第11章:運動器を熟読し、予習・復習することが特に重要である。1日の講義・実習に対して、予習・復習にそれぞれ60分程度必要である。								
講義についての注意事項								
1. 人体の構造を自らの身体と生命現象を参考に理解してほしい。覚えることばかりに拘らず、人体に興味を持ち、生命の不思議を考えてほしい。								
2. 限られた時間で人体構造の概要を概説するので、予め配付する講義録をもとに、各自のメモ、ノートを加えて自分なりの学習法を身につけよう。								
3. 質問、学習方法等気軽に相談してほしい。連絡は、1)教員秘書カウンターを通して連絡(下記オフィスアワー)、あるいは2)メールで連絡する。いずれもまず科目責任者(樋田)に連絡する。								
昨年度からの変更点・改善項目								
授業内容から実習を外し、「組織学実習」として独立した科目とした。								
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連について								
本科目履修には高校理科・英語等の基礎学力が必要である。基礎医学を深く理解するための科目であり、2年次に学ぶ「病因と病態」履修や3年次に引き続き履修する「運動器系」の土台を形成する学問である。								
ナンバリング								
BLI0116								